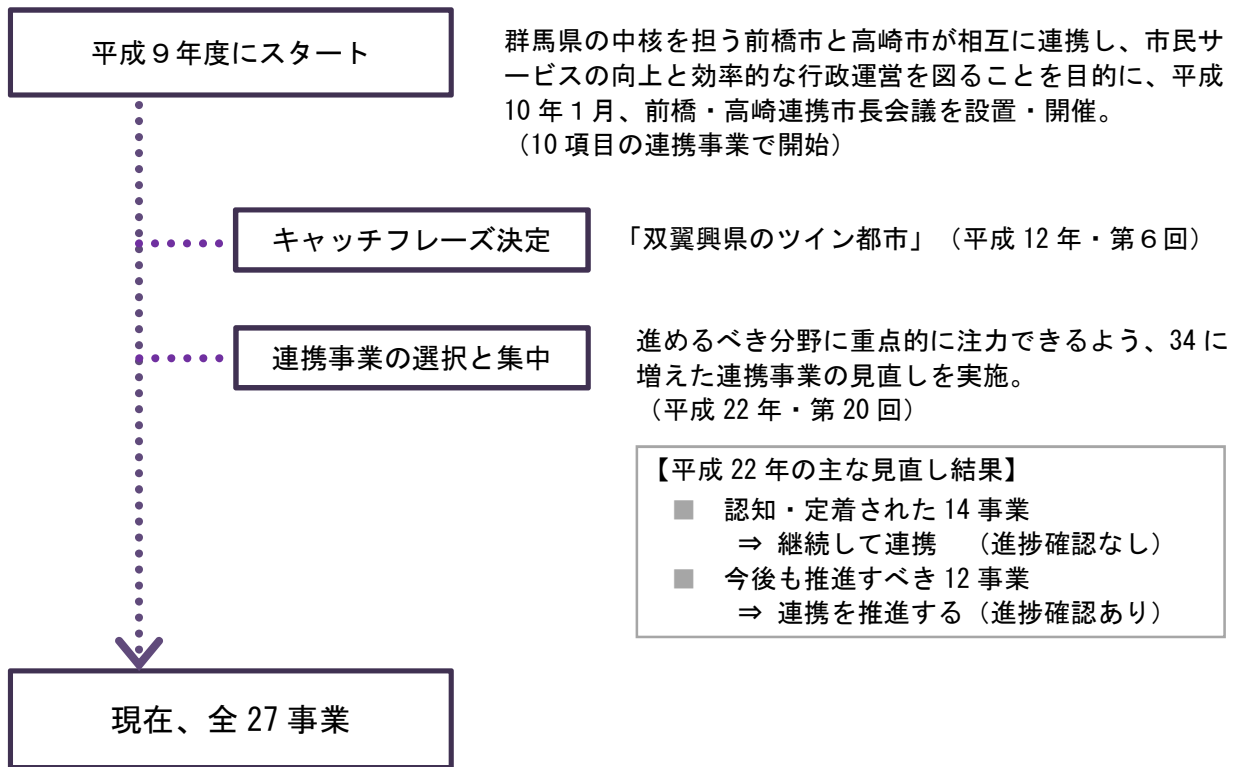


連携の経緯と現在の連携事業



➤ 連携を推進していく14事業 | 進捗確認あり

(1) 両市の友好・交流を促進する連携事業

- ① 両市まつり等での市民交流
- ② スポーツによる市民交流
- ③ 両市職員の交流
- ④ 両市美術館の連携

(2) 協力・共同で進める連携事業 (ハード)

- ⑤ 都市計画道路の共同整備
- ⑥ JR両毛線の利便性向上
- ⑦ バスの利便性向上

(3) 協力・共同で進める連携事業 (ソフト)

- ⑧ 文化イベントの共同開催
- ⑨ 文化財活用事業
- ⑩ 食育推進事業の連携
- ⑪ 安全安心対策の連携
- ⑫ 物産展の相互参加
- ⑬ 観光振興の連携
- ⑭ 企業誘致の連携

➤ 上記の他に連携している取り組み | 進捗確認なし(定着等している13事業)

- ・ 妊婦生活サポートグッズの配布
- ・ 管外保育の実施
- ・ ファミリーサポートセンターの相互利用
- ・ 福祉タクシー利用券の相互利用
- ・ 図書館の相互利用
- ・ 出前講座の相互受講
- ・ 広報誌等への相互掲載
- ・ 上水道の相互応援
- ・ ごみ処理の相互支援
- ・ 大利根緑地公園の共同管理
- ・ 市境界付近の雨水対策
- ・ 市境界付近の下水道相互利用
- ・ 企業研修等の相互受講

主要な連携事業の実績

1 両市の友好・交流を促進した連携事業

① 両市まつり等での市民交流 | 前橋まつり・高崎まつりへの相互参加 [H10 開始]

- 実績**
- ・前橋市の団体→高崎まつり(2団体)華龍太鼓、勢多農林高校
 - ・高崎市の団体→前橋まつり(3団体)
塚沢小マーチング、育英大学・育英短期大学あばれん坊太鼓、高崎頼政太鼓
- 方針**
- ・多くの市民交流が図れるよう、市民団体等に働きかけるとともに、見て、参加して楽しいまつりやイベントづくりのための連携を行っていく。

② スポーツによる市民交流 | バレーボール大会の共催・ヒルクライム関連連携企画 [H11 開始]

- 実績**
- ・第24回レディースバレーボール大会を開催予定(令和5年2月26日、会場:前橋市)
〔各市12チーム、計24チームが参加予定〕
 - ・ヒルクライム:2大会に参加した選手から1人に賞品(旅行券60,000円)を贈呈
〔該当者796人、当選者1人〕
※2大会…「まえばし赤城山ヒルクライム大会」と「榛名山ヒルクライム in 高崎」

③ 両市職員の交流 | 人事交流・合同研修・連携事業の共同企画 [H10 開始]

- 実績**
- ・職員の相互派遣〔各市1人〕
両市健康部門(前:健康増進課、高:健康課)職員1名(1年間)の相互派遣を実施
 - ・特別(専門)研修〔対象:全職員〕
前橋市主催:ティーチング・コーチング研修、法制執務研修、ハードクレーム研修
高崎市主催:外国人おもてなし研修、クレーム対応研修、SDGs研修
- 成果**
- ・交流による新たな刺激、情報ネットワーク形成などの機会となっている。

④ 両市美術館の連携 | 企画展の相互開催や合同企画展の開催に向けた学芸員の交流 [H15 開始]

- 実績**
- ・令和4年度は実績なし
- 方針**
- ・教育普及事業の勉強会、美術品の貸借、調査研究、広報活動などの面での連携の可能性について、引き続き研究を進める。また、学芸員同士だけでなく、事務職員の意見交換も実施していきたい。

2 協力・共同で進めた連携事業〔ハード〕

⑤ 都市計画道路の共同整備 | 両市を結ぶ重要幹線道路 江田天川大島線・高前幹線 [H10 開始]

- 実績**
- ・前橋市(江田天川大島線)
第3期工区の用地買収及び一部工事、橋梁新設工事
利根川新橋区間整備に起因する交通影響を分析して、周辺道路網を含めたより効果的な整備手法を検討。同区間の事業化に伴う課題の抽出及び整理
 - ・高崎市(高前幹線)
高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業による道路用地確保および文化財調査を実施
第2工区(国道354号～市道競馬場通り線までの街路区間)について、補償調査、用地買収及び物件移転補償を実施
- 方針**
- ・今後も連携し、建設促進・県道昇格を継続要望していく。

⑥ JR両毛線の利便性向上 | JR東日本に対する共同の要望活動 [H10 開始]

- 実績**
- ・「駅おん♪Maebashi」と連携した前橋駅前音楽イベントの開催、前橋駅前けやき並木通りで周辺飲食店と連携した「前橋バルストリート」の開催、JR前橋駅と連携した「まえきフェス」「前橋駅オータムフェスティバル」の開催
- 方針**
- ・群馬県鉄道網活性化連絡協議会(県内自治体、鉄道事業者で組織)を通じて両毛線の活性化について、検討するとともに、両毛線の利便性向上のため、運行本数の増便や上野東京ラインの直通乗り入れ等について、引き続き両市でJRに要請していく。

⑦ バスの利便性向上 | 利便性向上にむけた共同研究・敬老バスカードの同額助成 [H10 開始]

- 実績**
- ・機器の老朽化に伴う敬老バスカードの廃止に対する対応を協議
 - ・関越交通以外のバス事業者へのICカード導入に向け、バス事業者・車載器メーカー等で構成される全体ワーキング(月1回)へ参加
- 成果**
- ・両市の循環バスの運行路線や運行方法などについて、共同で調査・研究を行うことにより、路線バスの利便性が向上している。
- 方針**
- ・今後も定例的にバスの利用促進につながる施策を検討し、両市で協議を行う。

3 協力・共同で進めた連携事業〔ソフト〕

⑧ 文化イベントの共同開催 | 様々なジャンルのイベントを共同開催 [H10 開始]

実績 ・令和4年度は実績なし。

⑨ 文化財活用事業 | 文化財展・講演会を共催し、文化意識の向上を図る [H19 開始]

実績 ・令和5年1月、文化財展「東国千年の都 防ぎ・護り・祓う—乗り越える災厄 先人たちの知恵—」を共同開催（来場者数合計 2,483 人）

成果 ・両市の保有する文化財をあわせて展示することにより、時代・文化をわかりやすく表すための補完効果と高い相乗効果をもたらし、市民の文化財に対する意識啓発に加え、両市を広くPRすることができた。
（文化財展通算 16 回開催、両市会場で合計約6万1千人来場）



⑩ 食育推進事業の連携 | 食育講演会・給食の献立交換等 [H21 開始]

実績 ・共通テーマに沿った食育推進

前橋市:いきいき健康教室(5回開催(参加者総数 130 人)、共愛学園前橋国際大学寄付講座「前橋市を考える」(11/4(参加者 120 人)、地区食育活動等で共通資料配布。

高崎市:男性健康カレッジ(8/17(参加者 20 人))、女性健康カレッジ(10/28(参加者 23 人))、はつらつ健診、子宮・乳がん検診、出前講座等でも配布中

・共通スローガンの周知「食卓で 笑顔と健康 育てよう」〔食育月間、食育に関するイベント等で普及〕

・広報紙への共通記事掲載

・学校給食の連携

・食生活改善推進員の連携

成果 ・両市民へ食育に関する情報提供を行うことで、食への意識高揚につながっている。



⑪ 安全安心対策の連携 | 不審者情報の交換・合同の補導活動 [H18 開始]

- 実績**
- ・不審者情報の相互提供 [実施中]
 - ・両市合同の補導活動 [令和4年7月15日に実施、12月12日に両毛線・上越線・高崎駅構内において実施予定]
 - ・各種情報の交換会 [2回開催(7・12月列車内補導実施時)]
- 成果**
- ・市域を越えた安全安心対策を推進し、子どもたちの被害防止などに役立っている。

⑫ 物産展の相互参加 | 企業者の交流や育成を目的に相互に出店機会を設ける [H15 開始]

- 実績**
- ・前橋市企業 → 高崎会場物産展[R4.10.9 第19回たかさき雷舞フェスティバル] 1店
- ※前橋会場物産展は開催なし。
- (参考) 累計 前橋→高崎会場物産展 (29店)
高崎→前橋会場物産展 (12店)
- 方針**
- ・販路拡大や品質改善、販売ノウハウの蓄積などを図っていくため、継続して実施する。

⑬ 観光振興の連携 | 両市の観光素材を活かした連携ツアーなど観光人口創出の共同企画 [H20 開始]

- 実績**
- ・上毛三山スタンプラリーを実施 (上毛三山観光振興連絡協議会主催)
 - ・市役所の窓口で両市観光資料を配布
- 成果**
- ・多様な観光に対応し、観光交流人口の増加を図っている。



⑭ 企業誘致の連携 | 両市連携の企業誘致の実施を検討 [H25 開始]

- 実績**
- ・令和4年11月、担当者協議を実施
- 両市が抱える企業誘致に関する問題の共有、企業誘致活動に関する情報・意見交換、コロナ禍及びアフターコロナの企業立地の動向及び企業誘致の手法についての情報・意見交換を実施
- 方針**
- ・両市が実施する立地セミナーや企業誘致活動の企業誘致関連事業に関し、過去の実績や相互の各種資料等での情報交換を行いながら、企業誘致連携の担当者協議を開き、実施可能と思われる小さな連携から試していき、連携の可能性を模索する。